



けやき

富士宮市立富丘小学校
学校だより
令和6年度 4月号

夢を持ち、共に学び続ける富丘の子

け：げんきな子 や：やさしい子 き：きいて伝える子



学校経営目標

思いやりをもって、伝え合い、高め合って笑顔になる学校づくり

～誰一人取り残さない教育 Well-beingの実現～

令和6年度無事にスタート

○120名の新入生を迎えた入学式

卒業生が富丘小を巣立って行ってあまり時間が経っていませんが、今年も元気な新入生120名を迎えて入学式を行うことができました。入学式での1年生は大変立派な態度でした。また、進級した6年生は、最高学年のお兄さん、お姉さんとして新入生のガイドをしてくださいました。新入生は安心して入学式に臨めました。入学式で1年生にお願いしたことは三つです。命を大切にすること、できることは一人で行うこと、友達と仲良くすることの三つです。学校でも家庭でも休みの日でも大切にしてほしいと思います。自分の命はもちろん、友達の命も大切にしてほしい。集団生活では、友達と仲良くすることはとても大切なことだと考えられます。もし友達とけんかしてしまったらどうしたらよいかと質問すると「謝ればいい」と答えてくれる1年生がいました。全くその通りだと思います。

富丘小は、新入生120名を迎えて全校児童728名となりました。これから728名全員で力を合わせればとても大きな力になると思います。

○学校経営目標 富丘小での Well-being(ウェルビーイング)として「笑顔」をめざします

今年度の学校経営目標を「思いやりをもって、伝え合い、高め合い笑顔になる学校づくり」としました。6年間で育みたい四つの資質・能力「ゴールに向かってやりぬく力」「コミュニケーション能力」「自己調整力」「創造性」の内、最初の三つの資質・能力を育むことで、最後の少し高次の「創造性」も育めるのではないかと考えています。課題を解決し続ける過程で伝え合い、改善しながら新たな考えを創造していけるように授業や行事を行いたいと考えています。

また、副題を～誰一人取り残さない教育 Well-beingの実現～としました。Well-being(ウェルビーイング)とは、「身体的・精神的・社会的に良い状態」のことですが、本校では、児童一人一人が自分なりに自分の夢に向かって頑張ることができることによって笑顔になることをWell-being(ウェルビーイング)と考え、職員一同教育活動に取り組んでまいります。今年度も、地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(校長 植松宗一郎)

令和6年度 スタート!

クラス&担任発表 5日(金)



今年度、クラス発表は名簿の貼り出しで行いました。「誰と一緒にしよう」「何組だろう」と新学年の名簿で自分の名前を探し、新しい級友や担任へ、思いを馳せました。担任の発表では、「担任の先生は誰になるのかな?」とテレビを緊張して見つめ、画面に担任が映し出されると、歓声が上がりました。新しい年度の始まりです。新クラスで今年度も楽しく学び、大きく成長できるようにチーム富丘で支えていきましょう。

前日準備から当日まで活躍の新6年生



6年生が、春休みに学校に登校し、入学式の準備をしました。会場や1年生が初めて入る教室など、入学式の日も気持ちよく過ごせるよう飾り付けや清掃を一生懸命に行いました。当日は

受付から1年生の手を引き教室まで連れて行きました。やさしくていねいに1年生に寄り添う姿は、最上級生としてとても立派でした。



入学式 5日(金)

富丘小に120名の新1年生が入学してきました。今年度も、受付を終えると、ペアの6年生が1年生のお世話をしました。教室で先生の話をするときは、姿勢よく椅子に座り、話に一生懸命耳を傾ける姿が立派でした。6年生は、式場には入れませんが児童を代表して杉山楓さんからお祝いの言葉をいただきました。1年生も、入学式では担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をすることができました。また、歌を大きな声で歌えたり、校長先生やPTA会長の話を聞き、返事をするなど行事にしっかり参加している態度はとてもすばらしかったです。校長先生から教科書を、荻真教PTA会長から防災手帳をいただき、夢と希望にあふれた6年間小学校生活が始まりました。

